

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和5年4月20日（木）13時15分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

安井企画調査官、星上席技術研究調査官、木原室長補佐、安部室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

燃料デブリ取り出しプログラム部 担当者 2名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、東京電力及び国際廃炉研究開発機構が本年3月28日から3月31日まで実施した1号機原子炉格納容器内部調査（ROV-A2調査）の実施状況について、資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁から、ペDESTAL開口部から撮影した映像のパノラマ画像で観察される棚状堆積物の状況（ペDESTAL開口部の棚状堆積物との連続性、周辺壁面との相違箇所）、ペDESTAL内壁面の配筋の状況（配筋表面の損傷有無、曲がり等の変形の有無）、ペDESTAL内底部の堆積物の状況（想定される既存設備等の落下、コンクリートや構造物の損傷との関係、堆積状況）及びペDESTAL内上方の撮影状況（GRDハウジング等の原子炉圧力容器下部の構造物との関係）について確認した。

6. 資料

- 特定原子力施設監視・評価検討会（第107回）資料5-1 1号機原子炉格納容器内部調査の状況について（東京電力ホールディングス株式会社）

以上